学校支援ボランティアハンドブック

子どきがまなかり



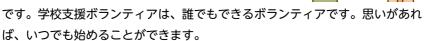
上田市教育委員会

目 次

1	はじめに	
2	上田市内の活動事例 4	
3	学校で何かお手伝いしたいと思ったら? 6	
4	学校へ行ってみよう 8	
5	学校って、こんなところです 9	
6	こんなことに、気をつけましょう 10	
7	ボランティア お悩み解消Q&A 12	
8	参考資料	
	コミュニティスクールとは	
	コーディネーターって、なに? 15	
0	ボランティア活動保険について	
9	お問い合わせ先一覧 18	

はじめに

このハンドブックは、これから学校支援ボラン ティアを始める皆さんのためのスタートブック



子どもたちは地域の皆さんに見守られていることを実感し、安心して成長します。

このハンドブックを参考にして、皆さんも学校支援ボランティアを始めてみませんか?

これから学校支援ボランティアを始めようという方は、学校との打合せや活動の参考にぜひお役立てください。

学校支援ボランティアとは?

「子どもたちの教育のために役立ちたい」という思いを持って、学校教育活動や学校環境整備などを支援するボランティア活動です。

- ①できる人が、できるときに、できることをします。
- ②自分の特技や学んだことを生かすことができます。
- ③子どもたちの健やかな成長のために、先生方といっしょに協力し支え合いながら、 学校をよりよくしていく活動です。
- ④自分の意志で積極的に行う活動です。
- ⑤ボランティア活動に対するお礼は金銭ではなく、子どもたちの「笑顔」と「ありがとう」の言葉です。
- ⑥学校を中心に、地域の人と人とのつながりを深め、よりよい地域づくりをめざしていく活動です。
- ②学校や子どもたちにかかわるということは、未来のまちづくりにつながります。

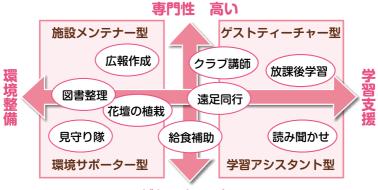
はじめよう、学校支援ボランティア

■ボランティアQ&A

Q:子どもたちや学校のために、何かできる ことはないかな?

Q:どんなボランティアがあるの?

A:活動は、さまざまです。 ※P4・5 「上田市内の活動事例」参照



だれでも できる

Q:ボランティア活動をしたいときは、どうすればいいの?

A:上田市内のすべての小中学校でボランティア登録ができます。詳しくは、市 内小中学校、教育委員会または、最寄りの公民館にご連絡ください。 ※P18・19「お問い合わせ先一覧」参照

Q:活動中にケガをしてしまったら?

A:すぐに、学校にお知らせください。保険の手続きは教育委員会がいたします。

【参考】 保険名称:全国社会福祉協議会 ボランティア活動保険

補償内容:ケガの補償(死亡を含む)、賠償責任の補償(対人、対物)

※ P 16 参考資料 3 「ボランティア活動保険について」参照

上田市内の活動事例



丸子北中学校

今年で開講 15 年を迎えた「コスモス大学」は、全部で 15 学科。地域の方を講師にその技術や特技を教えていただく講座です。生徒だけでなく地域受講生を募集し、一緒に学んでもらうことが特徴になっています。昇降口には、校名板

の隣に「丸子コスモス大学」の看板が掲げられ、活動の伝統を物語っています。このコスモス大学ならではの取り組みの1つ「依田川学科」では、中学生が手作りの筏(いかだ)に乗り込み、川下りが行われていました。途中の岩を避けながら、バランスを取り、依田川の清流を100メートルほど下流へ。運動着で川にダイブする姿も見られ、全員がびしょ濡れでダイナミックな水遊びを楽しんでいます。

子どもも大人も笑顔で学ぶ「コスモス大学」は、中学生を核とした地域と学校がつながる活動です。

南小学校

毎週金曜日の朝には「丸付けボランティア」が 大活躍。子どもたちは、始業のチャイムと同時に 担任の先生が準備したプリントに取り組みます。

しばらくすると、やり終えた子どもたちがボランティアの方の前に進んできます。



「よくできました」「上手な字で書けたね」などと、声をかけてもらいながら、目の前で答えの一つひとつに大きなおおきな丸をつけてもらいます。

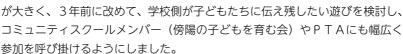
3年前に地域の皆さんに参加を呼びかけた当初、メンバーは保護者だけでしたが、現在は地域の方も加わって、全部で14名が活躍しています。「子どもたちの嬉しそうな顔が見たくて、金曜日は、掃除も洗濯も後回しにして学校に来ちゃいます。」とボランティアの皆さん。現役保護者のボランティアさんからは、「保護者だけではなく、地域の方たちも仲間に入ってくれたのが嬉しいです」との声も聞くことができました。

** 傍陽小学校

長い歴史を持つ「ふれあい伝承広場」。

子どもたちは、折り紙やおはじき、竹とんぼ作りなどの昔ながらの遊びを地域のおじいさん、おばあさんから教えていただきます。

しかし活動の中核を担う「長寿会」の負担



今後は、年1回の活動にとどめることなく、休み時間等に来校していただき、 将棋やお手玉などで子どもたちと遊んでいただくことを通して、日常的な交流 の場にしたいと願っています。そのためにも、学校を長寿会の会合の場所とし て使っていただくような工夫も含めて、更に地域と結びつきの強い学校づくり を進めたいと考えています。



第三中学校

三中の環境ボランティアは、地域の皆さんが 西部公民館の講座で花と庭づくりを学びながら、 中学生の緑化活動を支援していて、今年6年目 になります。

定例の生徒会緑化委員会がある午後3時30

分頃から1時間ほど、2人のガーデニング専門講師から、土づくりや花苗定植、草取り等の管理・栽培の園芸作業を学びながら、ボランティアの皆さんと緑化 委員の生徒がいっしょに活動をします。

中学生や栽培している花々から元気をもらうことが、ボランティアの方たち の活動の喜びになっています。



学校で何かお手伝いしたいと思ったら?

●ステップ1 活動の様子を見てみよう

自治会の回覧や学校のホームページなどをご覧ください。子どもたちの笑顔や地域の皆さんのいきいきとした活動の様子があふれています。

●ステップ2 誰かに聞いてみよう

活動に参加したいと思ったら、まずは市内小中学校、教育委員会または、最寄り の公民館に連絡をして、ボランティアに参加したい旨をお伝えください。

※ P 18・19 「お問い合わせ先一覧」参照

●ステップ3 会ってみよう

学校や教育委員会、公民館の担当の職員と面会の日程を決めましょう。 学校と地域の皆さんをつなぐコーディネーターもいます。

※ P15「参考資料 2」参照

●ステップ 4 登録しよう

面会した際に活動の内容などを確認し、了解いただけたら、右記の「ボランティア登録用紙」にご記入ください。用紙は各学校に用意されています。保険に加入する際の資料になります。

なお、ボランティア登録は毎年更新します。 活動を続けていくことが難しくなった場合 は、お気軽に、教頭先生やコーディネーター にお伝えください。

「できる人が、できる時に、できることを」が基本です。謝礼や交通費は出ません。

活動中のケガ等に備えて、教育委員会が、

ボランティアの皆さん対象の保険に加入します。

※ P 16 参考資料 3 「ボランティア活動保険について」参照



●ステップ 5 学校に行ってみよう

学校内への出入りの際は、事務室にひと声かけてからお入りいただき、職員室の 教頭先生(または担当職員)を訪ねてください。

●ステップ6 三種の神器

学校支援ボランティアの三種の神器は、「名札」「上履き」そして、「明るい笑顔」です。三種の神器で安全に、楽しくボランティアに参加しましょう。

*学校内は階段や段差が多いので、「上履き」は、運動靴が望ましいです。

●ステップ7 打合せは念入りに

はじめてボランティアに入る時は不安なことが多いものです。各学校には教頭先生や担当の先生、コーディネーターがいます。「活動の内容」はもとより、「時間」 「場所」「準備するもの」「子どもの様子」などについて共通理解をしましょう。

●ステップ8 さあ、はじめましょう

さあ、いよいよ始めましょう。子どもたちは待っています。



